

2019 年度  
事業計画書

2019 年 1 月 1 日から  
2019 年 12 月 31 日まで

公益財団法人 世界こども財団

本法人の事業内容は、公益財団法人世界こども財団 定款第 3 条に基づき、下記の通り定義する。

### 第 3 条（目的）

この法人は、日本国内及び世界の国々の中で、さまざまな困難を抱えながらも、その将来を必死に切り拓こうと努めている子どもたちや青少年を支援し、かつあるべき共生社会の人材として自立できるよう、その健全な育成に寄与することを目的とする。

### 第 4 条（事業）

1 この法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- （1）被災地の子どもたちや青少年への支援事業
- （2）子どもたちや青少年の教育・保健衛生・医療環境の向上のための支援事業
- （3）子どもたちや青少年の国際相互理解の促進と健全な育成のための支援事業
- （4）子どもたちや青少年の自立支援事業
- （5）前号に掲げるもののほか、この財団の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業については、国内及び海外において行うものとする。

# I 被災地の子どもたちや青少年への支援事業

## 1 方針

震災から8年目を迎え変わりつつある被災地のニーズを汲み取りながら、福島県相馬市・南相馬市の子どもたちや青少年の心身の健康を維持するためのカウンセリング、スポーツ交流、県外体験学習及び健康相談会を他の支援者とともに協働して実施する。

また、東日本大震災以外にも、自然災害で被災した地域への緊急支援も可能な限り実施していく。

## 2 支援事業の概要

### (1) カウンセリング

- ・復興に向け被災地（福島県相馬市・南相馬市・新地町）は大きく変貌しようとしている。その環境変化の中で心理的に不安定になる小中高校の児童・生徒、教員及び保護者等が見られることから、昨年度までと同様彼らを対象としたカウンセリングを実施して欲しい旨要請がきている。本要請は、世界こども財団の活動趣旨に一致することから他の支援者（相馬市・南相馬市教育委員会、NPO 法人相馬フォロアーチーム、NPO 法人星槎教育研究所及び学校法人国際学園）とともに協働して支援を行う。
- ・世界こども財団は、本カウンセリングに関する、支援対象者について教育委員会との調整、カウンセリングの実施に関する企画・コーディネート及び支援機関等への活動支援（移動・宿泊等の支援）及び一部経費負担等の支援活動を行う。
- ・カウンセリングの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
カウンセリング	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒・教員・保護者	後日決定
	福島県南相馬市	小中学校の児童・生徒・教員・保護者	後日決定
	福島県相馬郡新地町	高校の生徒・保護者	後日決定
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【支援者（機関）】 相馬市・南相馬市教育委員会、NPO 法人相馬フォロアーチーム、NPO 法人星槎教育研究所、学校法人国際学園</li> <li>・【実績】 ・2011 年度より継続実施</li> </ul>		

### (2) スポーツ交流

- ・被災地である福島県相馬市より、子どもたちを元気にするため、前年度に引続きこどもサッカースクール及びサッカー指導講習会の開催についての要請がきている。  
本開催要請は、世界こども財団の活動の趣旨に一致することから他の支援者（神奈川県サッカー協会、相馬市教育委員会、NPO 法人ドリームサッカー相馬、学生ボランティア、学校法人国際学園）とともに協働して実施する。
- ・世界こども財団は、本スポーツ交流等に関する参加者についての教育委員会との調整、開催実施に関する企画・コーディネート、支援機関等の活動支援（移動・宿泊等支援）及び一部経費負担等の支援活動を行う。

・スポーツ交流の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサッカースクール</li> <li>・サッカー指導講習会</li> </ul>	福島県相馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小中学校の児童・生徒</li> <li>■青年等</li> </ul>	2019年1月頃
	福島県相馬市	同上	2019年8月頃 ※児童・生徒を星湘南大磯キャンパス（神奈川県）へ招待
	福島県相馬市	同上	2019年10月頃
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 神奈川県サッカー協会、相馬市教育委員会、NPO 法人ドリームサッカー相馬、学生ボランティア（東京大学、横浜国立大学、神奈川大学など）、学校法人国際学園</li> <li>・【実績】 ・2016年度より継続実施</li> </ul>		

(3) 県外体験学習

- ・被災地である福島県相馬市より、前年度に引き続き、こどもたちを元気にするための県外体験学習の要請がきている。本体験学習は、放射線への不安から未だに屋外における野外体験学習を十分に行えないこどもたちを、大自然の宝庫である北海道に招待し、のびのびと野外体験学習を行ってもらうとともに、それを通じて友だち、仲間への配慮、共同作業・規律の大切さを学んでもらうことを目的としている。これまでに実施した体験学習では、これら目的が十分達成できたと評価をいただいている。については本体験学習の継続が望まれているので、2019年度においても引続き本体験学習（北海道に夏・冬1週間程度招待し夏は主に自然観察、冬はスキーと年2回の体験学習）を他の支援者（北海道芦別市、北海道帯広市、学校法人国際学園）とともに協働して実施する。
- ・相馬市は参加者を広く募集し、世界こども財団は、本体験学習に関する参加者について相馬市との調整、開催実施に関する企画・コーディネート、支援機関等の活動支援（移動・宿泊等支援）及び一部経費負担等の支援活動を行う。
- ・県外体験学習の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
体験学習	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒	2019年8月頃 ※自然観察、ものづくり体験
	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒	2019年12月頃 ※2020年1月の場合もあり ※スキー体験、雪上体験
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 北海道芦別市、北海道帯広市、学校法人国際学園</li> <li>・【実績】 ・2012年度より継続実施</li> </ul>		

## II 子どもたちや青少年の教育・保健衛生・医療環境の向上のための

### 支援事業

#### 1 方針

- (1) エリトリア国の農業の発展に対し、日本の有機農業を学ぶとともに実践し、帰国後に農業指導者としてエリトリア国に貢献できる人材育成を支援する。
- (2) エリトリア国のスポーツを通して人間形成を目指し、かつスポーツアスリートを養成するスポーツアカデミーの運営を支援する。

#### 2 支援事業の概要

##### (1) エリトリア：農業従事者を2名日本に派遣し、有機農業指導者育成への支援

- ・2017年5月、エリトリアを訪問し、現地政府との会談の中で農業省から農業指導者を育成するプログラムへの候補者がいるので支援してほしい旨の依頼があった。この研修プログラムを通し、日本の有機農業の理論と実践を通してエリトリアの農業の活性化を促すことを目的とする。有機農業が定着することにより、安全・安心な作物の栽培、家畜の飼育が可能となり、エリトリア国民の保健衛生、医療環境の向上に寄与できる。
- ・2018年度にエリトリア農業省から2名招聘し、2018年4月～12月の間で研修を受けた。2019年度については、上記研修生の帰国後の成果を検証しつつ、2020年度に向けての準備を現地と行う。今回は、農業省職員ではなく、一般の農業従事者を予定している。
- ・有機農業指導者育成の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
有機農業指導者の育成	エリトリア（農業省）	エリトリア農業省が推薦する農業従事者	2020年4月～12月
備考	・2019年度はエリトリアとの打ち合わせ、候補者選考を行う。 ・【協働者（機関）】 学校法人アジア学院		

##### (2) エリトリア：スポーツアカデミーの運営支援、関連施設の補修への支援

- ・2017年11月、エリトリア陸上連盟の副会長来日時に、これから開設するエリトリアスポーツアカデミーへの運営支援、および関連施設の補修への支援依頼があった。このアカデミーを開設することにより、エリトリアの子どもたち、青少年に安全な環境で安心な教育を展開することを目的とする。関連施設の補修は、エリトリア唯一の陸上競技場トラックの破損がひどくその修繕について支援する。
- ・2018年度は、陸上競技場トラックの修繕支援はできたが、スポーツアカデミー運営支援までは至らなかったため、2019年度も継続事業とする。

・スポーツアカデミーの運営支援、関連施設の補修概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
スポーツアカデミー運営支援、関連施設の補修	エリトリア（文化・スポーツ庁）	首都アスマラを中心とする青少年	2019年4月頃より
備考	・【協働者（機関）】 学校法人国際学園		

(3) エリトリア：Unicef エリトリアとの協働による現地学校およびコミュニティ支援

- ・2018年1月のエリトリア訪問時に、Unicef からの依頼を受け協議を実施。

Unicef エリトリアが計画している現地小学校を拠点とした幼児期教育、水と衛生、スクールクラブ活動の統合プロジェクトにおいて、スポーツの要素も含め世界こども財団との協働の要請を受けた。

- ・その後も継続的にプログラムの具体化と予算立てについて協議を行い、次年度は Unicef の選定したモデル校において実施する。

・Unicef エリトリアとの協働による現地学校およびコミュニティ支援

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
現地学校およびコミュニティ支援	エリトリア	Unicef 選定のモデル校および周辺コミュニティ	2019年4月頃より
備考	・【協働者（機関）】 Unicef エリトリア		

### Ⅲ 子どもたちや青少年の国際相互理解の促進と健全な育成のための支援事業

#### 1 方針

スポーツ交流を通じ、エリトリア、ブータン、ミャンマーとの国際相互理解を図るため、同国より陸上に才能のある高校生・大学生の留学受け入れを他の支援者とともに協働して実施する。

また、上記3国については、2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ協定を締結したので、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町と協働で受け入れを実施していく。

#### 2 支援事業の概要

##### (1) エリトリア留学生（高校生）の受け入れ

- エリトリアより、陸上に才能があり、かつ学習意欲の高い高校生を日本へ留学させ、最新のスポーツ科学を取入れたトレーニングを提供することにより、その才能を伸ばすとともに、日本の後期中等教育を受けさせることにより、日本・エリトリア両国の友好に貢献できる人材を養成する。陸上においては、オリンピック出場を目指す選手として育成をする。一方、留学生がクラスに入ることにより、日本人生徒は外国、特にアフリカをより身近に実感でき、国際的視野が広がることが期待できる。

##### ・留学受け入れの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
留学	エリトリア（教育省・陸連）	エリトリアの高校生2名程度	2019年1月頃より
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>【受入れ校】 学校法人国際学園 星槎国際湘南</li> <li>【協働者（機関）】 学校法人国際学園、公益財団法人日本陸上競技連盟（JAAF）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）</li> <li>【実績】 2017年度から継続実施、2019年度卒業見込み</li> </ul>		

##### (2) エリトリア留学生（大学生）の受け入れ

- 高校生と同様にエリトリアより、陸上に才能があり、かつ現地高校を卒業し学士取得を目指している人材を日本へ留学させ、最新のスポーツ科学を取入れたトレーニングを提供することにより、その才能を伸ばす。在学中にオリンピック出場を目指す。また、日本の高等教育を受けさせることにより、将来、エリトリアの発展に寄与し、そして日本・エリトリア両国の友好に貢献できる人材を育成する。

##### ・留学受け入れの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
エリトリア若手陸上選手の合宿受け入れ	エリトリア（教育省、陸連）	現地の高校を卒業した者1～2名	2019年夏頃

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【受け入れ校】 学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学</li> <li>・【協働者（機関）】 学校法人北海道星槎学園、学校法人国際学園、公益財団法人日本陸上競技連盟（JAAF）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）</li> <li>・【実績】2017年度に2名受け入れ実施</li> </ul>
-----	--

(3) ブータン留学生（高校生・大学生）の受け入れ

- ・ブータンより、陸上・アーチェリー・射撃・柔道に才能があり、かつ学習意欲の高い高校生・大学生を日本へ留学生として受け入れる。優れたトレーニング環境を提供することにより、その才能を伸ばすとともに、日本の後期中等教育、または高等教育を受けさせることにより、日本・ブータン両国の友好に貢献できる人材を育成する。いずれの競技においても、オリンピック出場を目指す選手として育成をする。将来的には、日本で取得した学歴をもとに世界に羽ばたく人材を育成する。
- ・留学受け入れの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
留学	ブータン（教育省・陸連・アーチェリー連盟、射撃連盟・柔道連盟）	ブータンの高校生2名程度、現地高校を卒業した者2名	2019年1月頃より
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【受入れ校】 学校法人国際学園 星槎国際湘南、学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学</li> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、学校法人北海道星槎学園、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益社団法人全日本アーチェリー連盟、公益社団法人日本ライフル射撃協会、公益財団法人全日本柔道連盟</li> <li>・【実績】 2018年度、陸上1名、アーチェリー2名の高校生受け入れを実施</li> </ul>		

(4) ミャンマー留学生（高校生・大学生）の受け入れ

- ・2018年4月にミャンマーオリンピック委員会と2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ協定を締結したことによって、エリトリア、ブータン同様に次項事業を実行していく。
- ・エリトリア、ブータンと同様に、ミャンマーからも、柔道・空手・水泳・陸上などに才能があり、かつ学習意欲の高い高校生・大学生を日本へ留学生として受け入れる。
- ・留学受け入れの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
留学	ミャンマー（教育省・陸連・柔道連盟、水泳連盟・空手連盟など）	ミャンマーの高校生2名程度、または現地高校を卒業した者2名程度	2019年4月頃より



備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【受入れ校】 学校法人国際学園 星槎国際湘南、学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学</li> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、学校法人北海道星槎学園、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益財団法人全日本空手道連盟、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人全日本柔道連盟、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町</li> <li>・【実績】 2019年度から実施</li> </ul>
-----	---

(5) エリトリア、ブータン、ミャンマーの2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ受け入れ

- ・2016年にエリトリア、2017年にブータン、そして、2018年にミャンマーと上記大会の事前キャンプ協定を締結したので、当該国と調整の上、事前キャンプを開催年に向け実施していく。

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
事前キャンプ受け入れ	エリトリア、ブータン、ミャンマー	当該国のオリンピック候補選手など	2019年7月頃より
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【受入れ場所】 星槎箱根キャンパス、星槎レイクアリーナ箱根、星槎道都大学など</li> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、学校法人北海道星槎学園、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、公益財団法人全日本空手道連盟、公益財団法人日本水泳連盟、公益財団法人全日本柔道連盟、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町</li> <li>・【実績】 2019年度から実施</li> </ul>		

(6) パラリンピック参加に向けての支援

- ・オリンピックに比して、パラリンピックへの参加に向けた基盤が整備されていない側面がある。広く共生社会の実現を目指すうえでもパラリンピックへの道を切り拓くための支援が必要である。

この事業を推進するために現地訪問も含める。

- ・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備 考
パラリンピック支援	<input type="checkbox"/> エリトリア <input type="checkbox"/> ブータン <input type="checkbox"/> ミャンマー	<input type="checkbox"/> 身体に不自由を抱えている選手 <input type="checkbox"/> 知的障害を抱えている選手	現地訪問によって調査から開始する
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 スポーツ庁、日本パラリンピック委員会、学校法人国際学園</li> </ul>		

## IV 子どもたちや青少年の自立支援事業

### 1 方針

開発途上国の子どもたち、その中でも特に弱い立場にいる孤児の自立を支援するため、他の支援者とともに支援活動を実施する。

### 2 支援事業の概要

(1) バングラデシュ、アグラサーラ孤児院に支援事業を実施し、孤児たちが将来自立できるようにする。

- ・株式会社矢部プロカッティングの海外生産拠点設立のニーズと、アグラサーラ孤児院のニーズを結びつけ、縫製工場建設を進める。については、職業訓練をすすめ、当該工場での就業機会提供を積極的に進め、孤児院及び孤児院自立に向けた支援を継続的に行う。

#### ・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備考
孤児縫製職業訓練	アグラサーラ孤児院	孤児院の子どもたち	—
備考	<b>・【協働者（機関）】</b> 株式会社矢部プロカッティング、学校法人国際学園		

(2) ミャンマー国内（ネピドー近郊）孤児院に対し支援活動を実施し、将来孤児院が自律的に運営できるようにする。

- ・金銭、食料等を提供することは、孤児たちが生死の窮状にある時には大切なことであり、必要不可欠なことであるが、長期的には孤児院経営を安定、自立させることが重要である。

2016年11月現地視察時、そのための支援として、孤児院に付属する農場経営へのアドバイス及び経営人材の育成を求められているので、その支援をおこなう。

- ・現地のニーズを確認し、2019年度も継続事業とする。

#### ・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備考
孤児院の分析および運営・経営候補者の研修	ミャンマー国内孤児院	ミャンマー孤児院の子どもたち	—
備考	<b>・【協働者（機関）】</b> ミャンマー保健省・スポーツ省、学校法人国際学園		

(3) アジア地域で、知的発達障害のある子どもとその家族を教育・医療・福祉の面で支援する団体を顕彰し、その活動を激励する。

- ・知的障害のある児童の教育に尽力し、成果を挙げている個人、団体を顕彰することにより、当該活動を支援するとともに、社会的認知を進め、環境改善につなげていく取組みである。

・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備 考
Star Raft Award の提供	アジアの発展途上国	教育・医療分野の関係者	AFID 総会時顕彰
備 考	・【協働者（機関）】 AFID(Asian Federation on Intellectual Disabilities)、学校法人国際学園		

## V 前号に掲げるもののほか、この財団の目的を達成するために必要な事業

### 1 方針

前号 I～VIの目的を達成するために、草の根活動として下記事業を支援する。

### 2 支援事業の概要

(1) 神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町、星槎グループで協働の SKY プロジェクトへの参加支援

- ・2017年度から実施している SKY プロジェクトを継続して行う。実施時期は、SKY プロジェクト担当者会議で県および市町の要望に応えるよう継続して実施していく。

交流内容は、留学生と一緒に駆けっこなど運動や留学生の母国についての紹介をする。また、保護者・地域の方々を交えた料理教室を予定している。

- ・2018年度は、留学生と地域の小中学生との交流が大変好評であったので、その交流を拡充することによって日本のこどもたちが、外国に対する意識を身近なことから捉えられるようさらに推進する。

#### ・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備考
SKY プロジェクトへの支援	<input type="checkbox"/> エリトリア <input type="checkbox"/> ブータン <input type="checkbox"/> ミャンマー	<input type="checkbox"/> 神奈川県内の主に大磯町を中心とした、保育園、小学校、中学校の園児・児童・生徒	<input type="checkbox"/> 実施日程は、SKY プロジェクト担当者会議で逐次決める
備考	・【協働者（機関）】 神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町、学校法人国際学園 ・【2018年度実績】 大磯町立国府保育園、同大磯小学校、同国府小学校で実施		

(2) SEISA AFRICA ASIA BRIDGE (SAAB) の開催

- ・本財団、学校法人国際学園共催の上記イベントを毎年 11 月に開催。

目的は、アフリカ、アジアの国々、太平洋の島国を知り、お互いを認め合い、そして、つながる“架け橋”となることである。単にイベントではなく、日常の教育活動に世界中の人々が笑顔で暮らせる共生社会の実現に向け、一人ひとりが出来ることから考え、お互いの意見を発表し、さらに発展することをやっている。

#### ・支援の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備考
SAAB2018 への支援	<input type="checkbox"/> 国内およびアフリカ、アジアを中心とした国々	<input type="checkbox"/> ブータンロイヤル・ティンパー・カレッジの学生を招聘	<input type="checkbox"/> 毎年 11 月を予定
備考	・【協働者（機関）】 学校法人国際学園 ・【後援（機関）】 外務省、神奈川県、横浜市、小田原市、箱根町、大磯町、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、JICA 他		